

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の活用に当たっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業を始めとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付けや売払い、共用林野の設定等を行っています。令和6(2024)年度末現在で7.2万haの貸付け等を行っており、農地や採草放牧地が約1割、道路、電気・通信、ダム等の公用、公共用又は公益事業用の施設用地が約5割を占めています。また、東日本大震災からの復興のため、汚染土壌の仮置場等として、国有林野の無償貸付け等を引き続き行っています。

国有林野の活用



https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/gaiyo/kasituke/kokuyuurinyanokatsuyou.html

表－１９ 国有林野の用途別貸付け等の状況

(単位：ha)

区 分	令和４(2022) 年度	令和５(2023) 年度	令和６(2024) 年度
農耕・採草放牧地	9,983(14)	9,973(14)	10,221(14)
道路敷	14,584(20)	14,593(20)	14,710(21)
電気・通信事業用地	17,307(24)	17,385(24)	17,639(25)
ダム・堰堤敷	3,423(5)	3,381(5)	3,373(5)
森林空間総合利用事業用地	8,979(13)	8,893(12)	8,889(12)
その他	17,355(24)	17,323(24)	17,099(24)
合 計	71,631(100)	71,547(100)	71,931(100)

注１：面積は、各年度末現在の数値である。

２：貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。

３：()書は、合計に占める用途別の比率(%)である。

４：計の不一致は、四捨五入による。

５：令和４(2022)年度の「電気・通信事業用地」の数値は、集計に誤りがあったため、令和４(2022)年度の公表時の数値と異なる。

表－２０ 国有林野の用途別売払い状況

(単位：ha)

区 分	令和４(2022) 年度	令和５(2023) 年度	令和６(2024) 年度
所管換・所属替	63(85)	206(80)	17(30)
公用・公共事業用	9(12)	50(19)	39(70)
産業振興用	0(0)	0(0)	0(0)
その他	2(3)	1(0)	0(0)
計	74(100)	257(100)	56(100)

注１：売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。

２：()書は、計に占める用途別の比率(%)である。

３：計の不一致は、四捨五入による。

事例 24 アウトドアスポーツのフィールドとしての国有林野の活用

(中部森林管理局 木曾森林管理署)



(写真提供：王滝村役場)



(写真提供：パワースポーツ)

- 長野県木曾郡^{おうたきむら}王滝村 ^{みうれ}三浦国有林
- 林道を使用したマウンテンバイクレース (令和4(2022)年9月)

- 長野県木曾郡王滝村 松原スポーツ公園
- トレイルランニングレースのゴールの様子 (令和6(2024)年7月)

国有林野は、国民共通の財産であると同時に、それぞれの地域資源でもあることから、住民の福祉向上や森林サービス産業*をはじめとする地域産業の振興に寄与するため、地方公共団体等に対して貸付けや使用の許可を行っています。

御嶽山の麓に位置する人口約 630 人の王滝村では、20 年以上前から広大な自然を生かしたアウトドアスポーツ大会が毎年開催されており、2,000 人超の人々が集まる大規模な大会に発展しています。

これらの大会では、マウンテンバイクやトレイルランニングの走行コースとして、全行程のうち約 7 割の区間に国有林林道が使用されています。

木曾森林管理署では、その使用に当たり、一時利用の手続き、林道点検結果の情報共有、コース設定に当たっての助言等を通じて、大会が円滑に開催できるよう後押ししています。

このような取組は、観光やイベント参加などを目的に一時的に地域を訪れる交流人口の増加に寄与しており、同署では、引き続き、国有林野の活用を通じて、地域の活性化に貢献していきます。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林 563 か所を「レクリエーションの森」として国民の利用に供しており、令和 6 (2024) 年度は、延べ約 1.2 億人の利用がありました。

また、全国の「レクリエーションの森」のうち、特に景観等の優れた 93 か所を「日本美しい森 にっぽんうつく お薦め国有林」として選定し、動画や SNS を活用した多言語による情報発信を行うとともに、重点的な環境整備等に取り組んでいます。

さらに、「レクリエーションの森」と国立公園が重複している箇所のうち、知床、日光、屋久島等を重点地域等とし、環境省との連携を強化して、保護と利用の両立を図りながら利用環境の整備を推進するなど、更なる利便性や安全性の向上に取り組んでいます。

表－21 レクリエーションの森の現況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千 ha)	利用者数 (百万人)	代表的なレクリエーションの森(都道府県)
自然休養林	79	94	23	たかおさん(東京), あかさわ(長野), つるぎさん(徳島), やくしま(鹿児島)
自然観察教育林	84	21	15	しらかみさんち(青森), あんもん(岐阜), たき(岐阜), きんかざん(岐阜), あかさい(兵庫)
風景林	141	62	52	えりも(北海道), あしのこ(神奈川), あらしやま(京都)
森林スポーツ林	25	3	3	つくばさん(茨城), たきごし(長野), おうぎのせん(鳥取)
野外スポーツ地域	161	49	19	てんぐやま(北海道), うらぼんだい(福島), だいら(福島), むこうざかやま(宮崎)
風致探勝林	73	13	7	ぬくみだいら(山形), こまがたけ(長野), にじ(佐賀), まつばら(佐賀)
合計	563	243	119	

注 1 : 箇所数及び面積は令和 7 (2025) 年 4 月 1 日現在の数値であり、利用者数は令和 6 (2024) 年度の推計値である。

注 2 : 計の不一致は、四捨五入による。

レクリエーションの森



https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html

事例 25 倒伏した弥生杉の取扱いに係る検討会の開催

(九州森林管理局 屋久島森林管理署・屋久島森林生態系保全センター)



- 鹿児島県熊毛郡屋久島町 宮之浦嶽国有林
- 倒伏した弥生杉の現地確認
(令和6(2024)年10月)

- 鹿児島県熊毛郡屋久島町
屋久島森林生態系保全センター
- 検討会の様子(令和6(2024)年10月)

「屋久島自然休養林」(白谷雲水峡)内の「弥生杉」は、樹齢3,000年と推定され、多くの観光客が訪れる観光名所として親しまれてきました。しかし、幹の腐朽が進んでいたために、令和6(2024)年8月に発生した台風10号の影響により倒伏するに至りました。

屋久島森林管理署及び屋久島森林生態系保全センターでは、倒伏した弥生杉の今後の取扱いを検討するために、同年9月に外部有識者等から成る「弥生杉の取扱いに係る検討会」を設置し、現地調査や意見交換を行いました。

その結果、弥生杉を現地から運び出しての展示や復元をするのではなく、巨木が横たわる様子や植生が遷移していく過程を通じて大自然の力を感じてもらえるよう、倒伏した姿のまま現状保存することとしました。

今後は、倒伏前の写真や現状保存等の取扱方針を説明した看板を設置し、弥生杉周辺の遊歩道などの環境整備を予定しています。このような取組を通じて、適切に現地を保全管理するとともに、森林環境教育の場や観光資源として活用することとしています。



おだしろ ゆのこ
小田代・湯ノ湖自然観察教育林の草紅葉

(撮影地：栃木県日光市 日光森林管理署 奥日光国有林)